



10月 日号 横浜市立鴨居中学校 電話045-934-3871 FAX045-934-8739

## 福島県被災地生徒派遣研修を行いました

校長 齋藤 浩司



8月20日(火)代表生徒10名(生徒会役員、1年学年委員)、引率教諭3名と福島県南相馬市を訪問しました。一般社団法人「あすびと福島」の協力で、南相馬市周辺の避難指定地区と避難解除地区をめぐり、南相馬ソーラー・アグリパークにて「未来のエネルギー」についてグループワークを行いました。

鴨居駅を出発し、新幹線を乗り継ぎ仙台へ。小雨のなか、マイクロバスは一路南へ。名取市周辺までは、緑濃い風景でしたが、南相馬市を通過する頃には、雑草生い茂る田畑や、除染された表土の集積所などが見えました。

避難指定地区はバス内からの見学でした。バリケードに囲まれた家屋や商店、交差点ごとにガードマンが配置され、我々が普段過ごしている土地と全く違う様子でした。生徒たちは真剣な表情で説明を聞き、車内から撮影をしていました。

その後、避難解除地区で、震災の後移転した共同墓地から海を望み、当時の様子を現地の方から聞きました。また、当時全員避難し助かった請戸小学校の建物、家屋と共に墓石も倒されていた旧墓地も見学し、津波の恐ろしさを目の当たりにしました。

「あすびと福島」の本拠地である南相馬ソーラー・アグリパークでは、南相馬市の中学生3人と「見学した感想」を共有し、「未来を支えるエネルギー」についてディスカッションしました。

- ・これからは、環境にやさしい再生可能エネルギーがもっと普及すればいいなと思った。発電量が少なかったり、環境に左右されるという課題があるものの、やはり安全を第一に考えるべきだと思います。
- ・電気を使う側としてこまめに電気を消したり、一日に使う電氣量を決めたりと、意識を高めていくとよい。
- ・福島の中学生と共に考えた。被災地の中学生も前向きに考えてる。勇気もらった。これからも福島に関心を寄せ、未来のエネルギーについて考えていきたい。

上は参加生徒の感想の一部です。子どもたちにとって、福島に足を運び現地の様子をつぶさに見て、聞くことは何事にも代えがたい体験であったと思います。

避難地区の様子にショックを受け、ソーラー発電基地の壮観さに希望を見出し、グループワークで自分ができることを考え……。中身の濃い一日であったと思います。今後、生徒報告会を開催し、学んだことを学校全体へ広げていきたいと思っています。

### 学校教育目標

- ◎生徒が、自ら考えて行動する力を高めます。
- ◎生徒が、互いを認め合い学び合う姿勢を大切にします。
- ◎生徒が、より良い生き方を求めて努力することを支援します。

学校hp



学校facebook



## 竹山夏祭りにPTA販売ブース出展！

7月26日(金)27日(土)の両日、竹山夏祭りにて、PTA販売ブースを出展しました。役員はじめ総勢50名で、名物ちくこん(ちくわとこんにゃくの煮物)・揚げ点心・えびせんべい・ゼリースカッシュを販売しました。たくさんの方々に来店いただき、売り切れ完売！となりました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。  
(PTA会長 吉田晶子)



暑い(熱い)二日間でした！

## 夏の部活動 主な結果

部活名	結果
吹奏楽	吹奏楽コンクール横浜地区大会銅賞
囲碁将棋	県小中学校将棋大会出場
野球	市総体3回戦敗退
男子テニス	市総体ベスト8、県総体出場
バドミントン	市総体3回戦敗退
柔道 男女	女子個人戦優勝、第三位 県総体 女子2名、男子1名出場、女子団体出場

## 萩生田文部科学大臣、佐々木大臣政務官来校

9月25日(水)萩生田光一文部科学大臣と、佐々木さやか大臣政務官が、鴨居中を視察に来ました。

今回の視察の目的は、鴨居中が進める「ICTを活用した働き方改革」や「外部の人材を活用した部活動運営」を中心に、横浜市が行っている働き方改革について現場の状況を把握することです。

- ①校長室にて、校長が鴨居中の取組を話しました。
- ②職員室の出退勤の管理機器や、家庭からの連絡システムをpc画面上で見させていただきました。
- ③部活動(野球・柔道)の様子をみていただき、それぞれの指導者へ声をかけていただきました。
- ④本校職員(横田・津曲・吉岡)を含めて懇談。3人の先生からは学校現場の状況や鴨居中の取組を話しました。

大臣が退出される時、「鴨居中は温かい雰囲気があり、とてもいい学校ですね」と話され、とても嬉しく感じました。

(校長)

